

たのしくまなぶぼうさいカード 指導の手引

このカード教材は発達障がいや知的障がいなど、障がいのある子にも、障がいのない子にも理解できる、楽しみながら防災を学べる教材となっています。あえて、障がいのない定型発達の子にも使える教材となっていますので、障がいの告知をされていない子や一般のご家庭でも意識せずに使うことができます。

本教材の特徴と使い方

- ・カードを渡して反応を見てみましょう

絵を見るのが好きな子、文章を読むのが好きな子、様々な子がいます。まずはカードを渡してみて、その子がどちら（表面のイラスト、裏面の文字）に興味を持つか観察してください。

- ・一枚ずつ見せる

低年齢の児童には、絵を一枚ずつ見せて裏に書かれている文面を参考に問いかけてみましょう。



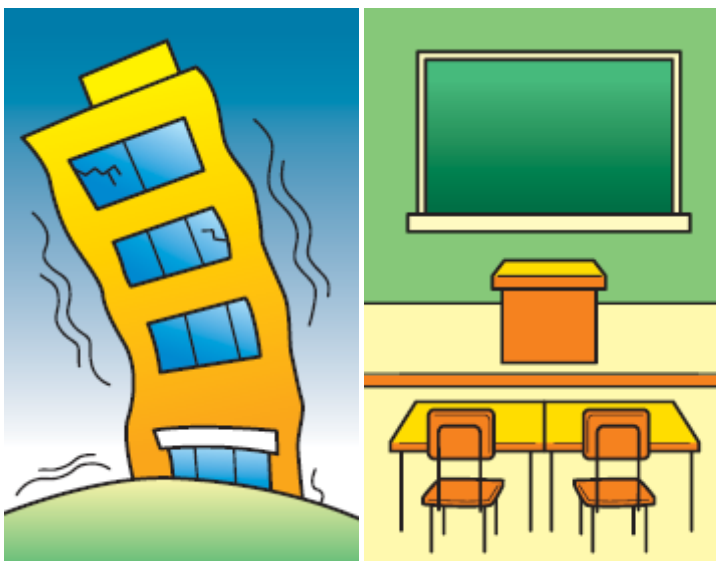
- ・複数のカードを組み合わせせて見せる

年齢の高い子、ディスカッションが可能な子には複数の絵を組み合わせせて、様々な状況を考えさせてみます。

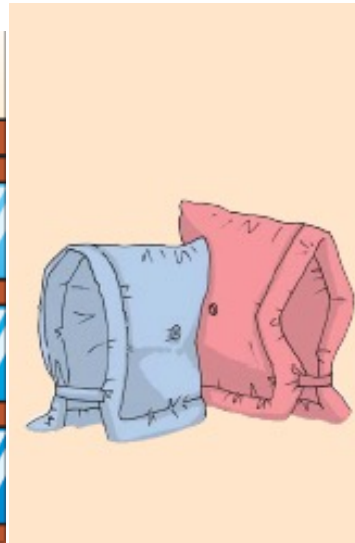
さいがいのカードとばしよのカード、状況のカードを組み合わせせて、それぞれの場合でどのような違いが起こるか問いかけてみましょう。



例えば、じしん と おうち のカードを見せて問いかけた後、じしん と きょうしつ のカードや じしん と エレベーター のカードを見せて、それぞれの場所でどのような違いがあるか考えさせます。

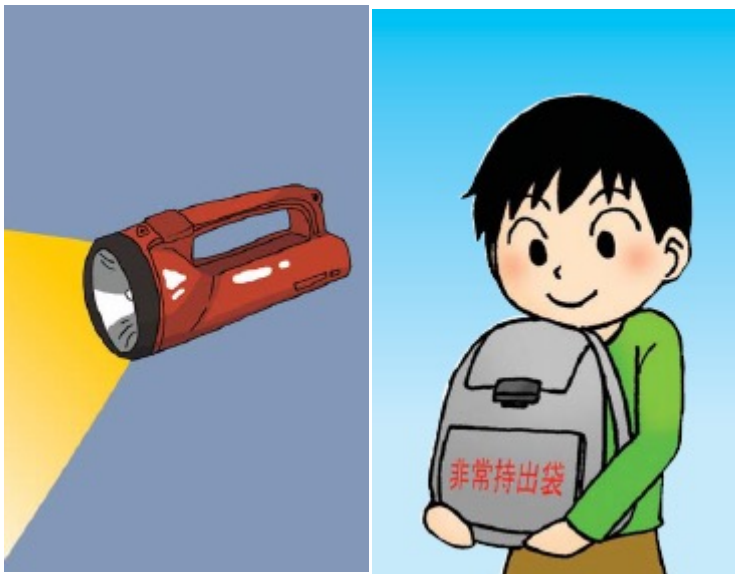


じしん と ものがおちてくるカード ぼうさいずきん のカードを順番に見せることで、（原因）じしん、（結果）ものがおちてくる、（対策）ぼうさいずきんの順番で学ぶことができます。



じしん と おうち のカード を見せた後、 よる や ていでん のカードを見せて どのようなことで困るかを考えさせる、かいちゅうでんとう や ひじょうもちだし のカードを見せて どんなものがどのように役立つかについて考えさせ、備えることの大切さを学習します。





はい、いいえ のカードは しゃべるのが苦手な子、意思疎通が難しい子が学習する時に、使います。



障がいやおくすりで支援が必要な子にはカードに情報を書き込み持たせておくことで、備えになります。

たすけてください

あなたの
支援が必用です

わたしは _____

_____ で

おしえて
ください



おくすりのなまえ

がいすう _____

ちゅうい _____

いりかたち



- ・文字を読むことができない子に対して

文字を読んで理解するよりもイラストなど視覚的な情報の方が理解しやすい子がいます。また、文字を読むことができて、絵を見ながら読み聞かせのような音声情報の方が理解しやすい子もいます。

文字を読むことが苦手な子や、知的発達が遅れや学習障害のある子については、カードの表面、イラストが描かれている面を見せながら、裏面に書かれている文章を参考に問いかけをしてください。

- ・想像力を働かせることが苦手な子に対して

絵を見てもそれが何を表しているのか考えることが苦手な子や、今まで見たことのない光景や他人の気持ちを想像することが苦手な子がいます。イラストよりも文章を読む方が理解しやすい子もいます。そのような子には裏面、文字が書かれている面を見せて、考えるように促してください。

じしん

さいがい

じめんが
ぐらぐら ゆれること

だんすい

じょうきょう

さいがいがおきると
すいどうのみずが
でなくなる場合があります
これを だんすいといいます

じしんのあとに
つなみがくる
こともあります

どんなことでこまるか
かんがえてみましょう!

・想像力が豊かで多弁な子に対して
話し出すと止まらない子、自分の考えたお話を得意げに話す子には、カードを
何枚か渡して、お話をつくってもらいましょう。大人から見て不思議な意見や
とっぴなお話が飛び出すかもしれません、否定はせずになぜそう思ったのか、
聞き返してみましよう。うまく答えられなくても残念がらずに、そういう考え
方もあるんだねと、意見を出してくれたことを認めてあげましよう。

WEB 学習ツール

・防災カード

WEB 上で防災カードを利用して学習できます。

・防災クイズ

クイズを楽しみながら、防災について考えます。

・たすけての練習、気持ちを考える学習

ひなんしているときにおうちのひとと
はぐれてまいごになってしまいました



えのきもちはどう?



←



ちよき



ばー

あそんでいるとき、ねているときなど自分がどんな気持ちになるかを考えさせます。ぐー（つらい時、イライラしている時） ちょき（おちついてる時） ぱー（楽しい時、興奮している時）で表現します。

障がいにより、人の気持ちを想像したり、自分の気持ちを伝えたりするのが苦手な子は、どういう気持ちになるかを捉えることや、自分の気持ちを伝えることが難しくなります。

この学習で、絵に描かれている状況でどのような気持ちになるか想像させ、気持ちを伝えてもらいます。

話すことができない子、意思疎通が苦手な子は、「助けが必要な時には手でグーをつくって見せてね」と教えておくことで、助けてのサインを出す練習ができます。

<http://bousai.jpp2.jp/user/demo/www/data/>

- この教材は、博報財団第9回児童教育実践の研究助成を受けて作成されました。